

贖殿下

*Sacrifice
Prince*

*The Heroic Legend
Of Arslan
Fan Book.*

R18
Contents include



パルス歴三二〇年
国を追われた王太子
アルスラインは

諸侯の一人である
ホディール卿の援助
を受ける事になる

03

おおよくぞ御無事で
アルスライン殿下

しかし若すぎる
王子は気付か
なかつたのだか

この城塞の
入口が

彼の更なる
受難の始まり
である事を……

まっ

待て
ホデイル!
今なんと…!?

ええ
ですから

が

支援の見返りに
殿下の御身を
賜りたいと…

そう申して
おるのですよ

それは…っ

キラッ…

つまり王子たる
この私に娼婦の
真似事をせよと…っ

そういう事
か…!?

ほほっ
まさか…

殿下はご自身の立場
どころか価値さえ
知らぬと見える

…?

鏡を
ご覧下され

殿下程の美しさが
女などと同等な
はずがございませぬ

娼婦など
もつてのほか!

これは何物にも
勝る報奨ですゆえ…

敬意を評しながら
欲情したいのです

…わたくしは
ですな殿下
貴方様に

「国を取り戻すべく
逞しく生きる気高く
美しい王子」として

それに…

この城塞には
多くの兵や武器が
ございませぬ

わたくしの指示
一つで殿下御一行を
お守りするの
は勿論

その逆も…

可能なのです
よなあ…

…なんと…
下衆な…

…だが

そう怖い顔を
なさいますな殿下

花の顔が
台無しですぞ

断れば別室に隔離
された仲間達に
危険が及ぶだろう…

この者には拘束
した私達を敵軍に
差し出す事もできる

この場を
収める最も
簡単な方法…

す…

それが
この身を
差し出す事
ならば…

…わかった

ただし触れ合い
しか許さぬ

それ以上の事を
する気ならば…

勿論ですとも

……さて

了承も得られ
た事ですし

じっくりと
親睦を深め
ましような……

ギシ……

さわ……

しなやかな
筋肉が美しい
ですのう……

んん……なんと
張りのある
滑らかな肌触り……

純白の肌に
桃色の乳首が
映えますな……

ホ……
ホディール
待て……っ

ギシ……

ま……

は……





なあに…

これも触れ合いの
一環ですゆえ

約束は違えて
おりませんぞ？

ふふ…

しかしそんな
お顔をされると

興奮して
きますなあ…♡



ほれほれ
勇気を出して

…っ

なぜ私が…
こんな…

臭い…
気持ち悪い…



ああ…♡

あのアルスラーン
殿下がわたくしの
逸物を…っ

すばらしい
光景ですなっ…♡

そうそう…皺の
隙間まで丹念に…
舌で掬うように…

よいんですぞ♡

…ふふ
拙い口淫を
眺めるのも
一興ですが…

殿下のおクチを
粗雑に扱うのもまた
趣が増しますなっ♡

♡のふらふら♡

♡ちん♡

ふふ…

かお
かお♡

ふふ
かお

ふふ
かお

ぐわん
ぐわん

びく

びく
びく

びく
びく



はー

はー

はー

おやおや…
そんな
こぼして…

いけません
なあ…

はー…

はー…

はー…

「次」からは

きちんと
飲み込むの
ですぞ…♡

は…

…!?



また明日も
楽しみにして
おりますからな



今宵はこの程度に
しておきましょう

どういう事だ
ホデイールつ
この限り
ではっ…

殿下には常に
見張りをつけて
おりますゆえ

くれぐれも
臣下の皆様には
ご内密に…

後日ホデイール
要求は更に過激に
なっていました

…さあて
殿下

今朝お贈り
したものは
身に付けては
おりますか？

…ああ

確認させて
下され

まっ待て…



おお♡

しっかり
着用されて
いますな♡

か
ま
ま
ま



よお
お似
合
い
……♡

ふ…
ふさけるな…

このよ
うな
悪趣
味な
履
き物…

むに…

まあ
まあ…
これ
からの
行為
を
円滑
にする
為
です
ゆえ…

さあ
では
殿下
こちら
へ…

先日
の復
習を
いた
しま
しよ
う♡



まあまあ
拡がりました
なあ……♡

ほれ開くと
奥まで見え
そうですぞ♡

桃色の肉壁が
ウネウネと……

早くここに……
んん♡

想像しただけで
ガマン汁が……♡

も……っ
いい加減に……

んん……
もう少し
ほしくしな
で……

……ではこう
しましょう

殿下がわたたくしを
射精させられたら

解放してさし
あげますよ



なあに
昨晚と同じ
要領ですゆえ

ま...
まだこれを...



早く
しないと

指を
増やして
奥まで
穿つまで
おま
すぞい
てお



このように
ほれっ♡

だめだ...っ
早くホテイルを
射精させねばっ

このままではっ
狂っでしまっ...





初めて弄られる
お尻で達する
とは……

もしかやこちらの
才能がおあり
なのでは？

はー...はー...

はー...

はー...はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

はー...

そんな殿下に

更に素敵なし
贈り物を致し
ましよう……♡

…殿下

皆とも話し
合いました

やはり早急に
この城塞を出る
べきと存じます

ホデイル郷は
信用できませぬ

いつ寝首を
搔かれるか…

…いや
ホデイルは…

彼は悪い人
ではないよ

しかし…
案ずるな

おぬしらは
ゆっくりは
旅の疲れを
癒してくれ

…よいな？



殿下……っ



お待ち下さい
殿下っ!



……なんとも

健気では
ないですか
殿下……



……しかし
あの者もまさか
自身の主が……

尻にこのような
物を仕込まれて
いるとは

思いもより
ますまい……♡



ぬめ抜いてくれ...
苦しい...

仕方ありませんなあ...

よい調子です
殿下...

これならあと
数日...



んほっ...

今後は殿下ご自身
でも慣らして
おくのですよ

課題です
からな

昼間でも抜き打ち
確認致します故

例え外でも
しつかり拵げて
見せるのですぞ

大丈夫…

もう暫くの
辛抱です…

あと…
もう少しで
終わる…

あともう少し
耐えれば…

この屈辱の
日々が…

—1ヶ月後—

ホテイル…

何なんだ
この衣装は…っ

お殿下
お待ちして
おりました

肌にびったり
張りついて…

それに
禪の下が…

裸より
はずかしい

今まで頑張って
頂いたのは全て
この日のため…

その衣装は
いわば
正装ですよ

では今宵を
耐えれば…!

…まあ
そう焦り
なさいますな

うらん
美し
かし
しい
…

本
当
に
よ
く
お
似
合
い
で
…

異
国
の
極
薄
素
材
で
製
作
に
苦
勞
し
た
甲
斐
が
あ
り
ま
し
た

肌
に
吸
い
つ
く
よ
う
で
し
よ
う
♡

…お
や
と
こ
ろ
で
こ
の
つ
ま
ん
で
ほ
し
そ
う
な
乳
首
は
ど
う
さ
れ
た
の
で
す
?

…お
や
と
こ
ろ
で

も
し
や
透
け
透
け
の
興
奮
し
て
お
ら
れ
る
の
で
す
か
な
?

そ
れ
と
も
ま
さ
か
直
に
こ
ね
回
さ
れ
た
い
と
か
…
?

ゴ
ロ
ゴ
ロ
ゴ
ロ

ゴ
ロ

ゴ
ロ

ゴ
ロ





わたくしもう
勃起が止まら
ないのですよ…

この日のために
溜めてきました
からなア…

ほれ…金玉が
パンパンなのが
分かるでしょう♡

殿下も
そうでは…

し…
知らぬ…

ん…

びく
びく



しらを切る
つもりですか

では…

ぐん…

これは

何です
かなあ…♡

はぁはぁ



乳首でこう
なってしまう
とは…

清廉な御顔で
とんだスケベさんで
いらっしやる♡

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

はぁ

はぁ

はぁ



今宵でこの取引は
終わりなのだろう!?

早く終わ
らせ...

んん?

ん...

ん...

一体いつまで
こんな辱めを...

全く実に
いやらしい...

さ...
触るな...

スリ...

はあ



おやあ
殿下...

それはもう
待ちきれないと
いう事ですか?

...?

では本懐を
遂げさせて
頂きましようか

な...
何を...

そ...
そ...
そんな...

それは
勿論...

わたくしを殿下の
胎内に受け入れて頂く
愛の儀式ですよ...

無理...

ピキッ

ピキッ

びん

怖がらずとも
よいのです

ギ...

この一カ月で殿下の
尻は雄の為の穴と
なっておりますゆえ♡

さあ
お覚悟を...♡

くも...

それを挿れて
しまったら...

だ...っ
だめだ...

ドクッ...
ドクッ...

アッ
アッ

ピクッ

ふん
ふん

もう...
戻れなくなる...っ

ガッ

ガッ

ガッ





ああこのように
口吸いまで…

舌が絡み
ついで…っ



まるで
夢のよう…

苦し…っ



いやだっ…
壊されるっ…



失礼しますぞ
殿下っ…♡



私はっ…♡



こんな状態
で奥を
突かれたらっ…

私は…



んほおおっ…
早々にイキそう
ですっ…♡

殿下はいかが
ですかな!?

はっ
はっ
はっ

おっ
おっ

はっ
はっ



では一緒に
イキましようなっ

いやだっ
いやだっ

いけません
殿下ッ

ギシッ
ギシッ

すっかり中出し
するまでが
まぐわいですゆえっ

よろしい
ですなア!?

このまま出し
ますぞおっ♡

はっ
はっ
はっ


おっ
おっ

溜めに溜めた
子種汁ツ...

しっかり受け
止めて下されっ♡




熱い...




この晩も
その晩も

ホデイルは
幾度となく
私を犯し続けた




大国の王子を穢す
背徳と悦楽は

彼にとつて
どれ程のもの
だったのだろう



その欲望は
留まる事なく

私を貪り
壊していく



ほれ殿下ッ

騎馬の民ならば
しつかり腰を
使うのですっ♡

たっ たっ たっ たっ

足腰がなって
おりませんな...

おや...
もうお疲れ
ですか?



は...は...
は...

は...は...
は...は...
は...は...

は...は...

は...は...

は...は...

は...は...
は...は...

仕方ありませんが
ここはわたくしが
お手本を...

は...は...
は...は...

は...は...
は...は...

は...は...
は...は...





暴れ馬
ですぞおっ♡

それっ♡

それっ

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...
あ...あ...

熱い...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...

熱い...

ぐわぐわ
ぐわぐわ♡

あ...あ...

あ...あ...

体の中を熱い
体液で犯されて
いけばいく程

心は冷たく
沈んでいく

抱かれる度に
「王子の私」
死んでいるの
だが

では…

この私は…

仲間達の前で
無垢な少年を
演じる私は…

「私」は誰…？

ああ、いいです
殿下♡♡

奥まですっきり
逸物の形を
覚えたようで…♡

もしやわたくし達は
体の相性がよいの
かもしれませんな♡

さぞかし具合が
よろしいでしょう♡

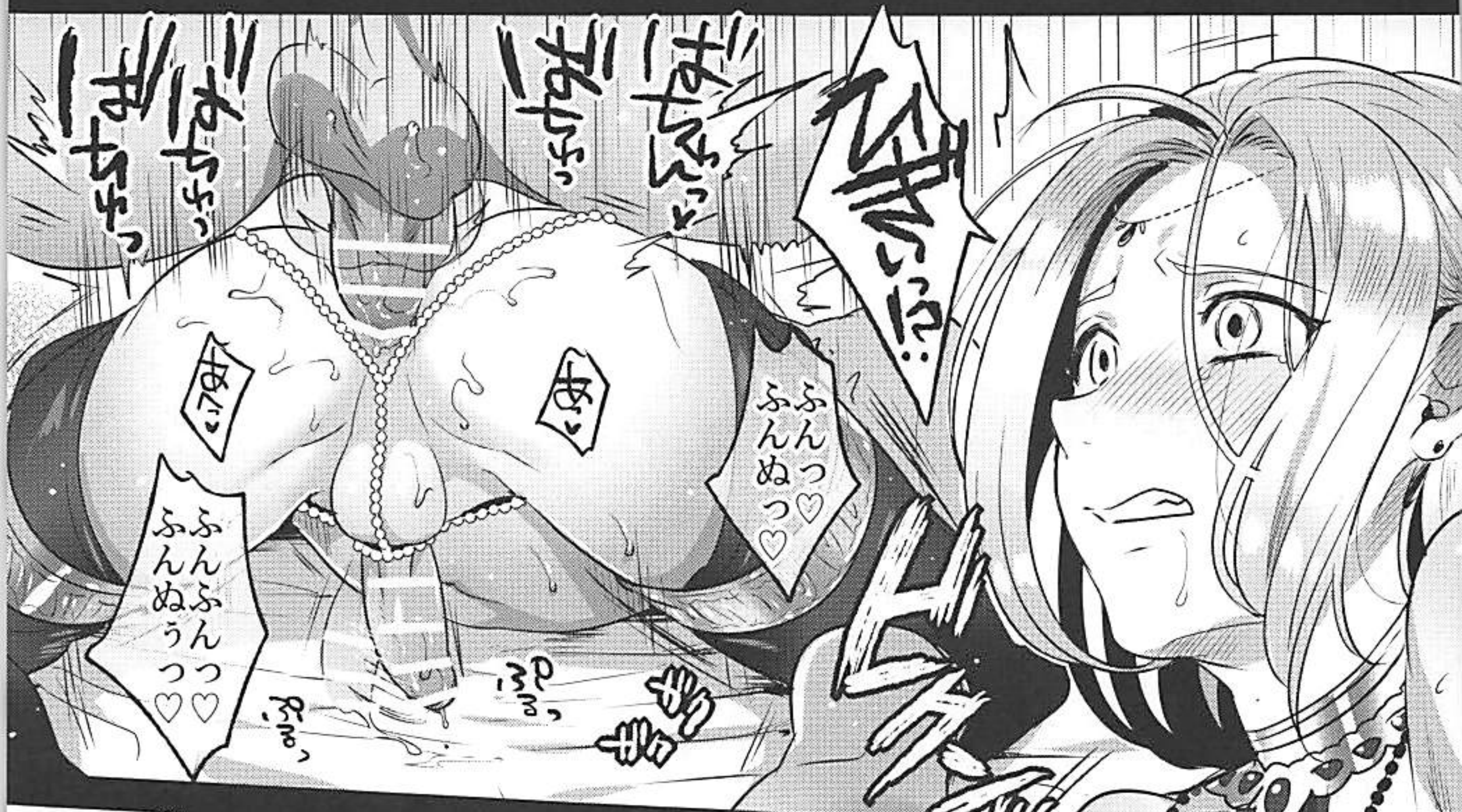
なんですと？
それは
いけません…

では更に濃厚な
種付けをして
差し上げねば…

…なにを…

そ…っ
そんな
わけ…っ





ふんぬっ♡
ふんぬっ♡
うんっ♡
っ♡

ふんぬっ♡
ふんぬっ♡

ふんぬっ♡



だめだ...っ
こなんなの...っ
耐えられなっ♡

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

たっ

ズズズズズズ

殿下の体は誠に素直ですなあ♡

頼むから早くっ♡

早く終わってくれっ♡

ほれっ♡
そんならっ
締めたらっ

おおっ♡

またイクッ
イキますぞっ♡

無理……っ♡
もう……っ♡

ズズズズズズ





うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

お慕い申して
おりますぞ…

アルスラーン
殿下…♡

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

…殿下

一体いつまでこの城塞に籠もっているつもりです…？

流石にもうそろそろ…

…ああ
…それに
ついてだが

ホデイルの協力もあり

このままここを拠点に兵を募ることに…

既に多くの貴族達が援助を申し出てくれてな

これからの食事会なんだ

…だから
詳しくは
あとで…

…それは…

…大丈夫



こんな私にでも
きつとできる事が
あるはずなんだ

どうか私を
信じて待って
いておくれ

みんな

殿下……っ



本来であれば
この身など

初陣でとうに
哀れな骸を曝して
いたはずなのだ



ならば……

お……



それが今
皆の役に立つ



何も持たぬ
この薄汚れた身で

これ以上
無益な争いを
抑えられるなら



幾度でも
差し出そう

幾度でも
「王子の私」を
贖としよう



どだ
らから
……

……
……
……

名もなき私に救いの手を



◆2016/08/12

発行:黒ミサ会場/池咲ミサ 第七版

◆印刷:ねこのしっぽ

◆連絡:ikezakimisa@gmail.com

◆twitter:<https://twitter.com/ikezakimisa>

◆pixiv♀:<http://www.pixiv.net/member.php?id=334249>

◆pixiv♂:<http://www.pixiv.net/member.php?id=7928116>

*The Heroic Legend Of Arslan
Fan Book: R-18*

By: Ikezakimisa

2016 Summer

